田尻栃谷町のひみつ

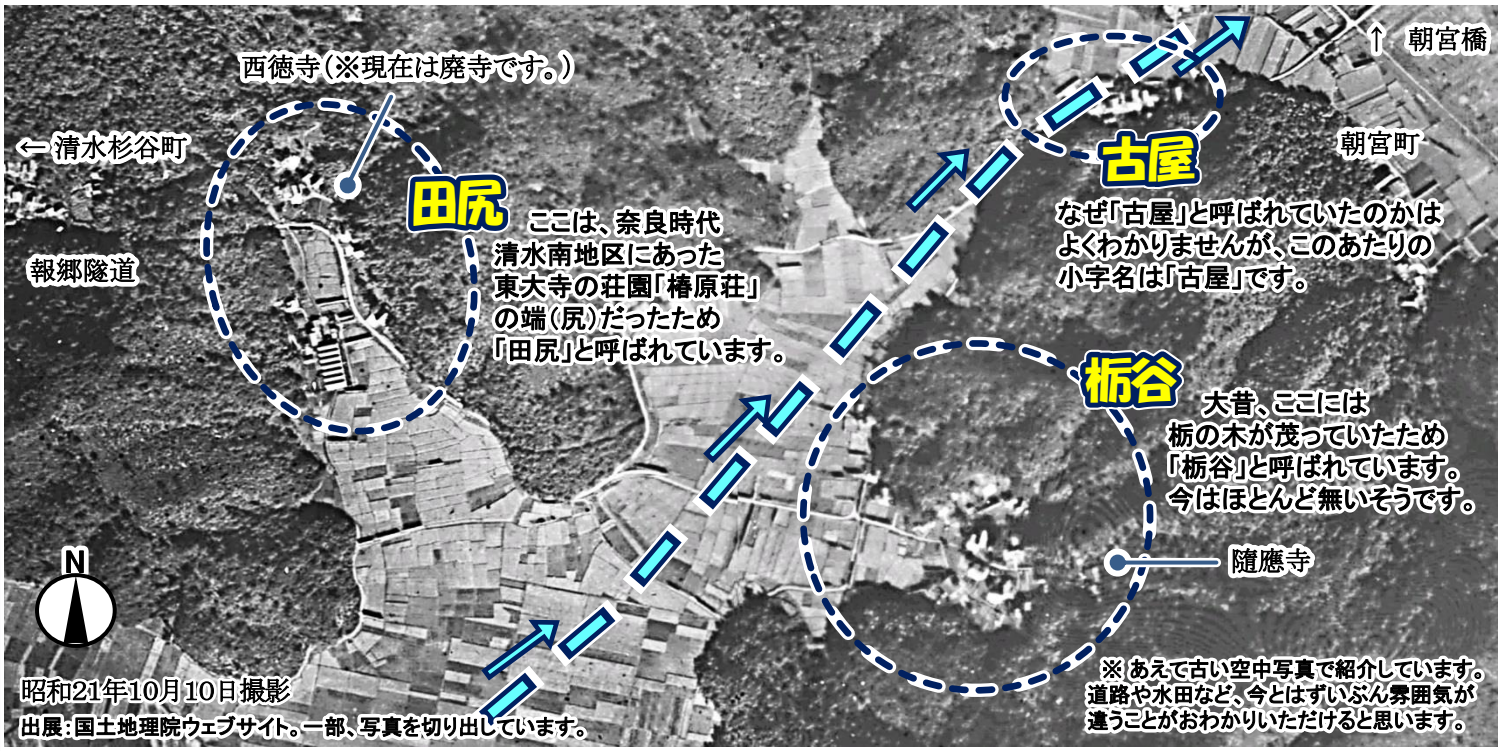
A SPECIAL EDITION
by Teamぶらひがし

田尻栃谷町のおもしろい
ネタをご紹介します。

① 以前3つの村だった！

② 三留町や清水杉谷町などの田の排水を
田尻栃谷から日野川へ流した事があった！

今回は田尻栃谷町！



① 田尻栃谷町は、田尻・栃谷・古屋の集落からなっていました。
② 慶応3年（1867年）の春に着工し翌年の春に完成したものの、理由は不明ですが、僅か1年足らずで埋め戻されました。
※排水路を表す写真中央の太い破線はイメージです。実際の場所などはよくわかりません。

① 田尻栃谷町のおいたち

田尻・栃谷・古屋の集落からなっていました。地名については、奈良時代東大寺の荘園「椿原の庄（つばきはらのしょう）」の田地が、片山新光寺（片山町の一部）の前に広がっていました。この椿原の庄が、朝宮（朝宮町）の谷間へ続いている田地の端が田尻であり、栃谷は栃の木が茂っていたところで、その名が生まれました。栃の実は古代人の食物として大切なもので、大昔はこの辺にも茂っていましたが、今ではほとんど絶えて、奥越の山間部にだけ残っています。栃（とち）と名のつく地名は、このように古代人の集落が、近くにあったことを物語っています。

近くの片粕山（グリーンハイツ4丁目付近）の中腹には、縄文中期頃（紀元前二・三千年）古代人が住んでいた縄文遺跡があり、すぐ近くの田尻栃谷（田尻栃谷町）の小高い丘陵の上（元ブドウ山※）などは、古代集落がつくられていたのではないかと思われます。

記事引用：清水町のむかしばなし

※元ブドウ山とは、田尻栃谷町ふれあい会館前の山にありました。このブドウ山については、ホープタウン田尻の特集で紹介する予定です。

上記、昭和20年の空中写真と比べてみてください。新しい道路や土地改良された水田の様子など、ずいぶん変化している事がよくわかります。

・ Teamぶらひがしとは、清水東公民館の広報部を中心とした有志の集まりです。日々、地区内のおもしろいネタを探しつつぶらついています。

② 田尻栃谷堀割大工事（たじりとちたにほりわりだいこうじ）

杉谷区片山区田尻栃谷区（清水杉谷町、片山町、田尻栃谷町）が寄り合っている穴虫（※①）、おかたん橋付近（※②）は、土地が低く洪水のときは、最後まで水が引かなかったので、百姓たちは何とかしてこの排水を、朝宮・栃谷（朝宮町・田尻栃谷町）のせまい谷から日野川へ落すことは出来ないものかと、以前から考えられていました。

千メートル以上の堀割（ほりわり）工事には、巨額の経費がかかるので、中々着工できませんでした。

この新堀割の場合、今までの排水河川である、新保水路（※③：今の清水山町新保にある天津排水と三方排水が合流する十郷排水路）は、日野川との落差が小さいが、朝宮付近では落差が大きく、排水路として完全排水が出来ることが測量の結果わかっていました。

一方下天下（下天下町）と三留（三留町）との間で大雨の時沖田が満水して志津川筋「みせや堤（※④：今の六才橋付近）」が決壊して、日野川筋の水が下天下・猿和田（和田町）の沖田に流れこみ、水争いが絶えませんでした。

この事件の根本的解決策としては、朝宮・田尻栃谷へ新しい堀割りをつくって、排水するより仕方がないとの事で、実地見分の上、関係十七か村の間で、新堀割普請（ふしん）規定を結び、大工事を着工することになりました。

この堀割は大工事で、堀割組合一同は、領主に巨額の借金を申込み嘆願書を出したり、村々への工事費分担が大きいので、倹約申合せ事項をきめるなどして、慶応三年（1867年：坂本竜馬が暗殺されるなど激動の年でした。）の春着工し、十二月末完成の予定でした。

さしもの大事も付近の百姓人夫を総動員して、着々と完成に近づきました。ところが、思いがけなく、古屋（※⑤）の切り通しの一番深い所が、何回も崩れおち、工事が長引き、十二月完成の予定を、役所へ検分日延べの願いを出し、人夫の増員などで堀割工事の完成は翌年慶応四年（1868年）春に延期されることとなりました。

ところが、この年九月八日明治と改元され、徳川幕府二百五十余年の幕藩体制はおわり、明治新政府が誕生しました。

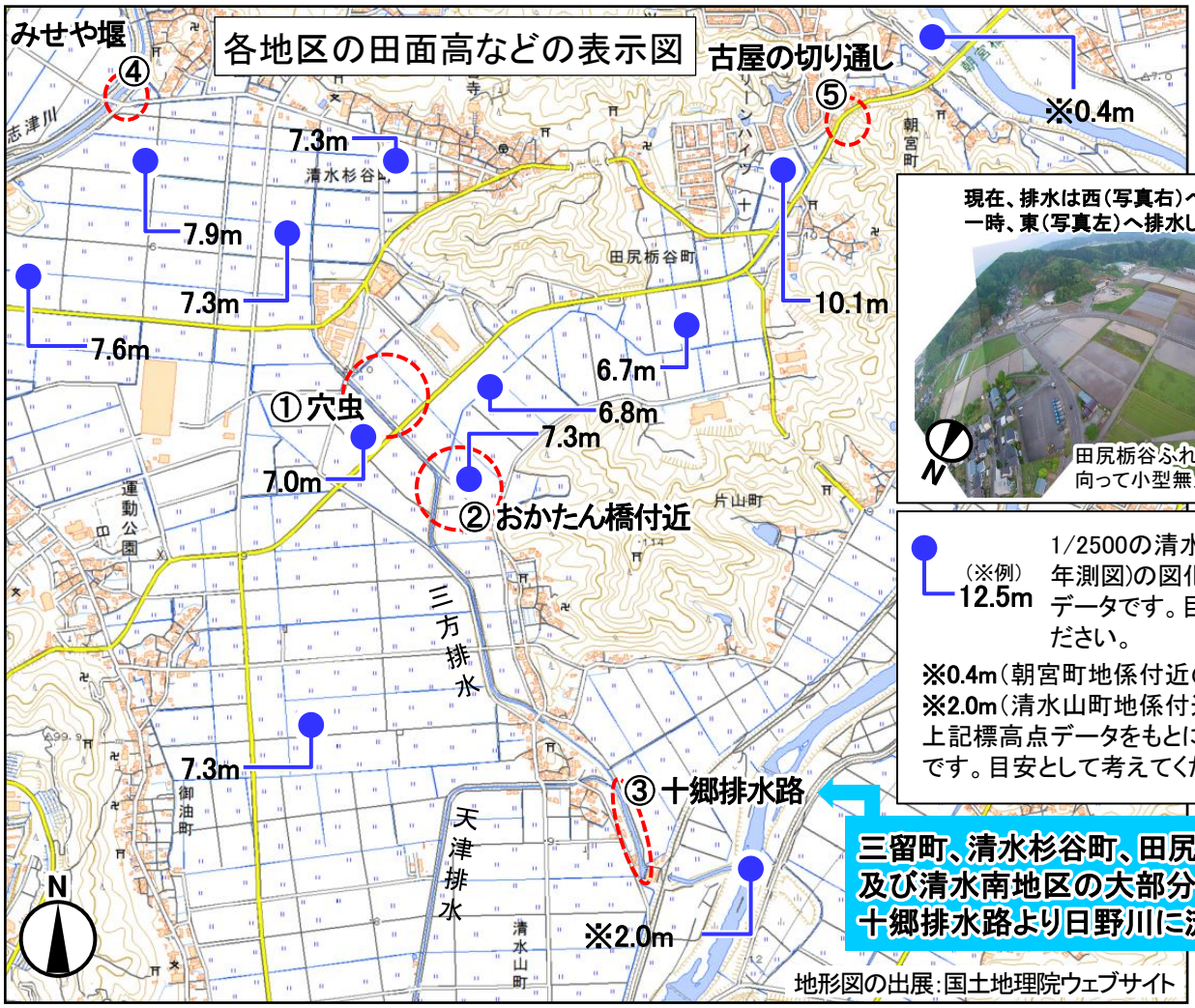
この政変の真只中で、大工事堀割が完成し、排水路に水を落すことが出来ました。しかしどのような経過、いきさつか不明ですが、突然明治元年春、「埋めこみ仰せつけられ候に付」と文書にかかれているとおり、埋めてしまう事になりました。その理由については、土地の古老も知らず、水が流れたことは親から聞いているとの事であります。

埋めこみの理由は、「掘割不用に相成り見詰も御座なく候」と、如何にも残念至極な文章でつづられています。

ところが埋めるにも、多数の人夫と金がかかり、明治二年に工事が始まり三年春には又多額の借金をした記録が残っています。

近郷近在の百姓たちの多年の念願であった堀割工事が、巨額の費用と農民の汗と労働の協力によって完成したものの政変のまきぞえか、異議申立ての方法もなく、「まぼろし」の堀割として記録にとどめられています。なおこの埋めもどし水路の田んぼの作柄（さくがら）が、今日でも違うとのことです。

記事引用：
清水町の
むかしばなし



現在、排水は西（写真右）へ流れていますが
一時、東（写真左）へ排水した事がありました。

（※例）12.5m　1/2500の清水町基本図(平成3年測図)の図化機測定標高点のデータです。目安として考えてください。

※0.4m（朝宮町地係付近の日野川）
※2.0m（清水山町地係付近の日野川）
上記標高点データをもとに算定した参考値です。目安として考えてください。

三留町、清水杉谷町、田尻栃谷町、小羽町及び清水南地区の大部分の排水は、この十郷排水路より日野川に流れています。